

12 課

12 課では話し手の希望などの表現の仕方を学びます。

「ほしい」は「い」で終わるので、い形容詞です。動詞に「たい」が付いた形「買いたい」は「い」で終わるので、い形容詞と同じ活用をします。

例) ほしいです → ほしいくないです
買いたいです → 買いたくないです

目的

- ・ほしいもの（物・人・時間）が言える。
- ・したいと思っていることが言える。

文型

(1) (2) 話し手が物などを手に入れたいと思っているときは「N が ほしいです」を使います。助詞は「が」を使います。

(1) おおきいテレビ が ほしいです。

(文型) 名詞 が ほしいです

例) 新しいパソコンがほしいです。
自転車がほしいです。
ペットがほしいです。

- ・外国人は、よく以下のような間違いをします。「～がほしいです」は動詞には使えません。
 - × 教えますほしいです。
 - × 食べるほしいです。

(2) どんな カメラ が ほしいですか。

(文型) どんな 名詞 が ほしいですか

にほんのカメラ が ほしいです。

(文型) い形容詞／な形容詞 + な／名詞 + の + 名詞 が ほしいです

例) どんなかばんがほしいですか。 — 軽いかばんがほしいです。
どんなコートがほしいですか。 — 暖かくて軽いコートがほしいです。

- ・「もの」ではない以下のような名詞にも使うことができます。
 - 時間がほしいです。
 - 休みがほしいです。
 - 仕事がほしいです。
 - 友達がほしいです。

- ・「～がほしいです」は、第3者の希望を表すことはできず、話し手自身の希望を表す場合に使います。第3者の希望を表す場合は、「ほしがる」という動詞を使います。

○ 私は車がほしいです。
× 田中さんは車がほしいです。(○ 田中さんは車を欲しがっています。)

- ・動作性名詞：「勉強する、旅行する」のように「する」をつけて動詞化できる名詞には使えません。

× 勉強がほしいです。
× 旅行がほしいです。
× 買い物がほしいです。

(3) あたらしいパソコン を (が) かいたいです。

(文型) 名詞 を (が) ます形 (ます) + たいです

話し手が何かをしたいと思っているときは「動詞たいです」を使います。「動詞たいです」は「ます形」の「ます」を取って「たいです」をつけます。(買いますたいです)。

- ・「買います」のような「～ます」の形を動詞の「ます形」といいます。

- ・「ほしい」も「～たい」も「い形容詞」です。

例) 旅行に行きたいです。
日本の会社で働きたいです。
友達に会いたいです。
彼女と結婚したいです。

- ・この文型には「を」使っていますが「が」も同様に使えます。

「～が食べたい」「～を食べたい」は、助詞「が」「を」は両方使えますが、練習は「を」を使います。実際には「を」を使うことが多いですが、「食べたいです、飲みたいです」は「が」もよく使います。

- ・「～たいです」では、第三者の希望を表すことができません。

○ 私はリンゴを(が)食べたいです。
× 田中さんはリンゴを(が)食べたいです。

(4) なにか たべたいですか。

なにも たべたくないです。

(文型) なにか ます形 (ます) + たいですか

なにも ます形 (ます) + たくないです

具体的な物の名前を聞くのではなく、希望する物の有無を聞く場合は「何か」を使います。

食べたい物の名前を聞く場合

「何を(が)食べたいですか」→「りんごを(が)食べたいです」

食べたいものがあるかどうかを聞く場合

「何か食べたいですか」→「はい、食べたいです／いいえ、食べたくないです」

30 課

21 課では可能を表す文型「～ことができます」が出てきましたが、この課では同じ表現を「可能形」でいう言い方を学びます。

目的

可能形を使って、何ができるのか、何ができないのかを表現できる。

可能形

動詞の活用形の 1 つに「可能形」があります。
この形は「書けます」のように可能の意味を表すので、こう呼ばれます。
「可能形」の作り方は、サブシートに記載されています。
●『THANK's 初級会話テキスト』 サブシート G8「可能形」

文型

(1) わたし は ひらがな が かけます。

(文型) 名詞 が 可能形

「可能形」の意味は 2 つあります。
人の能力を表す場合と、ある状況での可能を表す場合です。

- 例) 日本料理が作れます。(能力)
納豆が食べられません。(能力)
このマンションでペットが飼えます。(状況)
このカフェでは、インターネットが使えません。(状況)

- 可能形の前の助詞「を」は「が」に変わります。
例) ひらがなを書きます。→ ひらがなが書けます。
- 「を」以外の助詞は変化しません。(に、で、へ、等)
例) 富士山に登ります。→ 富士山に登れます。
車で行きます。→ 車で行けます。

(2) くるま の うんてん が できます か。 いいえ、できません。

(文型) 名詞 が できます か。 いいえ、できません

3 グループの動詞「します」の可能形は「できます」です。
例) サッカーをします。→ サッカーができます。
料理をします。→ 料理ができます。

(3) まど から うみ が みえます。

(文型) 名詞 が みえます

「可能形」の「見られます」に似た「見えます」という動詞がありますが、意味が違います。

「見られます」(可能形)

- 例) 今日は時間があるからテレビが見られます。(見ることができる状況である)
私の国で日本のアニメが見られます。(見ることができる状況である)

「見えます」

- 視覚能力があつたり、遮るものがなくて目に入るもの場合は「見えます」を使います。
例) 窓から富士山がよく見えます。(遮るものがなくて自然に目に入る)
猫は暗いところでも物が見えます。(視覚能力がある)

(4) はなび の おと が きこえます。

(文型) 名詞 が きこえます

「可能形」の「聞けます」に似た「聞こえます」という動詞がありますが、意味が違います。

「聞けます」(可能形)

- 例) 仕事が休みなので、音楽がゆっくり聞けます。(聞くことができる状況である)
イヤホンを買ったので、電車の中でも音楽が聞けるようになりました。
(聞くことができる状況である)

「聞こえます」

- 聴覚能力があつたり、声や音が自然に耳に入ってくる場合は「聞こえます」を使います。
例) 隣の部屋から歌が聞こえます。(声や音が自然に耳に入る)
イルカは遠くの声が聞こえます。(聴覚能力がある)

外国人学習者のための文法説明

30 課

(1)(2)「書けます」のように可能の意味を持った動詞の形を「可能形」という。

サブシート G8 参照。

(3)(4)「可能形」の「見られます」と「聞けます」に似た「見えます」と「聞こえます」という動詞があるが、意味が違うので注意すること。

- 例: 猫は暗いところでも物が見えます。(視覚能力がある)
天気がいいから富士山がよく見えます。(遮るものがなくて目に入る)
今日は時間があるからテレビが見られます。(見ることができる状況である)

- 例: 耳がいいから遠くの声も聞こえます。(聴覚能力がある)
隣の部屋から歌が聞こえます。(声や音が耳に入る)
今日は時間があるから CD が聞けます。(聞くことができる状況である)

※『THANK's 初級会話テキスト』(9 か国語版) 文法説明日本語訳